



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2022年
12月02日
発行

第 159 回

「菅義偉氏は風林火山」

～期待される首相への復帰～

初めに

古代中国の兵法書「孫子」の中に「風林火山」という言葉があります。「疾きこと風のごとく、徐かなること林のごとく、侵掠すること火のごとく、動かざること山のごとし」という、戦いにおける四つの心構えを示すものとして広く知られているのは皆さんご存知のことと思います。

ところで昨今、統一教会の問題や相次ぐ閣僚の辞任など、政治の混乱が止まりません。共同通信社が先ごろ実施した世論調査では、岸田内閣の支持率が過去最低の33.1%に下落しました。首相の早期退陣を予想する声も増えているようです。首相交代となれば、気になるのは次期首相です。早くも河野太郎デジタル相や茂木敏充自民党幹事長などの名前が挙がっているようですが、当レポートでは菅義偉元首相の再登板となる可能性が高いとみています。

そこで今回は、私がかねてより菅元首相に「風林火山」が当てはまると思っている理由についてお話ししたいと思います。

疾きごと風のごとし

まず、菅氏は政策面でスピード重視であった、ということです。携帯電話の料金引き下げなどは、菅氏が先頭に立って早期に実現させました。そして、政策だけではありません。菅内閣発足後に早い段階で企業経営者と面談し情報交換をしたことは印象に残っています。2020年10月に日本経済新聞に掲載された記事によれば、政権発足後一カ月で70人以上の民間人と面談したとのこと。まさに「風」のようなスピードです。

ワクチン接種は火のごとし

次にあげたいのが、新型コロナ対策としてのワクチン接種に関する政策です。担当の河野ワクチン相には到底無理と思われる目標を与え、自身も米国訪問の際に厳しいスケジュールを縫って製薬会社のトップからワクチンを確保しました。まさに「火」のような勢いだったのではないかと想像しています。

動かざること山のごとし

首相を退陣してからの菅氏は目立った政治的な動きをすることもなく、講演などこなしているようです。再起を勧める声も多いのではないかと思います。この姿勢はまさに「山」のごとしと言えるでしょう。

以上が、菅元首相を「風林火山」になぞらえる理由です。近いうちに充電を終えて政治の世界へ戻ってくることを期待しています。

注) このレポートでの意見は筆者個人のものであり、西村証券の見解とは異なる可能性があります。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。